



金澤 浩 議員



避難経路にはブロック塀が！

防災対策・ブロック塀補修とエアコン設置の進捗は。

問 公立小学校などのブロック塀対策とエアコン設置に対し国の補正予算が創設された。以前よりも有利な条件であることを考えると、冬休み、春休みの早期着工が可能と思われる。特にエアコンは、子どもたちの学習環境整備の他に、災害時、全市民の避難場所・環境整備である。はじめに、ブロック塀対策の状況と完了時期は。

答 危険と判断されたブロック塀のある学校は北伊予中学校を省く5校だった。岡田小と岡田中は改修工事完了。松前小は12月中、松前中・北伊予小は3月末で完了予定だ。

問 算は、最終いくらになるのか。

答 約5億8千万の予算だ。

問 約2倍になった理由は。

答 前回は1教室200万円の150教室で試算し3億と答弁した。その後業者の協力を得て精査した結果、電源設備改修等の必要性が判明。最終見積結果が5億8千万円だ。

問 他市町の事例を調査した上で予算を決めたのか

答 聞き取り調査した。しかし、施設の状態が異なる為、参考程度だ。予算計上は学校ごとに工事内容を積み上げて事業額を決めた。

一般競争入札を行い、平成31年3月に着工し、同年夏の稼働を目指す計画だ。

町立幼稚園・災害避難訓練参加後に危惧すること

問 古城幼稚園の津波時高所避難訓練に昨年参加して感じた危惧を3点伺う。①通園時、公共施設のブロック塀は国の予算で対策可能だが、避難経路の民間所有ブロック塀対策はどうするのか。

答 国は補助事業拡充を検討しているので動向を注視し対応していく考えだ。

問 ②液状化が起これば、園児の足では厳しい。対策は

答 どの程度の液状化が起こるかの想定はできていない。安全に避難できるルートを複数想定し周知啓発を継続すると共に、専門家の助言を求め検討する。

問 ③古城幼稚園の訓練に参加したのは、昨年も今年も町職員は、同園の職員だけだった。訓練全体を俯瞰する客観的な訓練評価が難しいと感じた。町の考えは。

要点的意見 現地現場を実際に見た園児目線での想定が多ければ多いほど、安全安心が担保できる可能性が高まる。弱者対策として障がいをお持ちの方や高齢者の避難対策にも通ずるところだと思つ。複眼思考で、より一層の安全対策を講じて頂きたい。

答 和田総務課長
個人の財産なので所有者の責任でお願いしているが、県に補助制度の創設を要望している。また

答 米澤学校教育課長
訓練前後に関係機関や町職員、園長会で協議を行い防災マニュアルの見直しを行っている。今後、教育委員会と幼稚園の連